

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価書】**

堺市立光竜寺小学校
校長 佐中 豊

中学校区におけるめざす子ども像 主体的に学び続ける子												
令和6年度 重点目標 ① 学びに向かう力を育成する （読み解く力の育成・基礎的・基本的学力の定着） ② 豊かな人権感覚を育成する （自尊感情の醸成・人権にかかわる授業改善） ③ 体力向上と健康維持を図る （運動意欲の醸成・生活習慣の振り返りと改善）												
「確かな学び」の現状 本校の児童は、各種調査において、①基礎的な内容の定着、②知識や技能を日常生活や学習に活用できる力に課題が見受けられる。学習した内容の定着を図るには、持続的な工夫が求められる。同時に、学力の二極化も踏まえながら充分な指導を行い、家庭と連携することで、基本的な学習習慣の確立をめざす。 また、特に読む力に課題が見られるため、読解力の向上および語彙の獲得をめざした全教職員による授業改善が必要である。 「豊かな心・健やかな体」の現状 小規模校で、全学年単学級のため、お互いのことをよく知り仲よく過ごせる反面、人間関係の広がりに課題が見受けられる。自尊感情に課題のある児童も少なくもない。そこで、自尊感情を育むために、人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人権感覚の育成を図ることが求められる。また、生涯にわたって健康に過ごす身体づくりのため、学校教育活動全体を通して体力づくりの充実に努めている。しかし、さわやかチェックの結果より、規則正しい生活習慣の確立には課題がみられることから、児童が自らの健康について考える力を育成し、規則正しい生活習慣を定着させる必要がある。												
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (9月)		達成状況 (年度末)			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎的な定着	自律的に学ぶ力を育成する。	●「聴いたことを書こう」…話を聞いたり資料を見たりして、考えたことを書けるよう指導する。	肯定的評価80%を上回っている。 「聴いたことを書こう」で、自分の考えを書くことができた。	振り返りアンケート	毎学期	◎	平均87% 良好である。	◎	・全体では92%になり判断基準を大きく上回り、各学年の取組の成果が表れている。 ・自分の考えを書くことができたと感じる児童は3つの学年で100%であった。 ・自ら考え取り組む家庭学習の習慣化には、やや課題がみられる。	◎	低学年からの継続した取り組みが必要だと思う。自主学習はテーマを示すと取り組みやすいのではないか。
			★自主学習ノートを取り入れ、学習習慣の定着を図る。	肯定的評価80%を上回っている。 「週に一回以上自主学習に取り組むことができた。」	振り返りアンケート	毎学期	△	80%を上回る学年が2学年あるが、極端に低い学年もある。	○		○	家庭のことでもあるため、難しいかもしれないが、定着できるよう保護者も努めていきたい。
			★漢字ミニテストの実施および児童用PCの活用などで、既習漢字の定着を図る。	肯定的評価80%を上回っている。 「ミニテストを通して漢字を覚えることができた。」	振り返りアンケート	毎学期	○	78%と概ね良好であるが、学年にばらつきがある。	○	・3つの学年で90%超え、全体で79%となり、良好であると考える。学習方法の工夫改善で更なる定着を図る。 ・全国学力・学習状況調査の「読むこと」領域の正答率に課題がみられた。 ・全学年と支援学級で公開授業を実施した。事後討議会では読解力向上についての討議を行った。	○	ミニテストを引き続き継続してほしい。覚える力が身につくと思う。
	授業改善	読解力の向上をめざす。	●校内で物語文・説明文の読み方の指導を統一し、読む力の基礎・基本の定着を図る。 ●全教職員が公開授業を行い、読解力を視点に交流することで、授業力を向上させる。	全国学力・学習状況調査の評価区分 「読むこと」で堺市平均を上回る。 全教職員が公開授業を実施している。	全国学力・学習状況調査 実践報告	2学期 年度末	△ ○	堺市平均よりも下回っており、課題がみられる。 1年、4年、ひかり1の研究授業をはじめ、授業参観、初任者研修などで順次公開中。	△ ○		△ ○	読むことは音読の宿題を家庭でもしっかりやるのが大事だと思う。授業で繰り返し読むことの楽しさを伝えてほしい。活字離れが進んでいるが、学校の取り組みに期待する。
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人権感覚の育成を図る。	●「いいところ見つけ」のさまざまな活動を通して、自尊感情を醸成する。	自分の「いいところ(もちあじ)」をかける児童(肯定的)が80%以上	振り返りアンケート	毎学期	◎	82% 良好である	○	・「自分のよいところを知っている」全学年平均83%3学年で80%を超えた。自尊感情を醸成する取組の結果に表れている。	◎	いいところみつけの取り組みがよい。周りからみた良いところを教えあうことは自己肯定感につながると思う。また自分のいいところを書けるのは素晴らしいことである。子どもたちがすすんで書けるのは、先生方の教育のおかげだと思う。いのちの授業はどの学年も参加しやすくわかりやすいので継続していったほしい。
			安心ルールを各教室で定め、安心して暮らせる環境づくりを通していじめの未然防止に取り組む。	「いじめは決して許されない」で肯定的評価95%以上。	生活アンケート 実践報告	毎学期	○	平均98% 安心ルールを全学級で定め、いじめの未然防止に取り組んでいる。	◎	・生活(いじめ)アンケートにおいて全学年で肯定的評価であった。安心ルールを全学級で定め、いじめの未然防止に取り組むとともに、コミュニケーションチェックなどによる成果である。	◎	
			人権にかかわる授業の質的変換を図り、学校教育全体を通じて人権感覚の充実を図る。	・授業参観において人権に関わる公開授業を全学級で実施する。 ・「いのちの授業」各学年実施	実践報告 人権通信の発行 アンケート (児童・保護者)	年度末	○	・授業参観で順次公開授業を実施中。	○	・一日参観、土曜参観で公開授業を行った。 ・「いのちの授業」を全学年で実施し、6年間の系統立てた指導が軌道にのった。	○	
	健康な身体を育成	運動に親しむ環境を整え、体力の向上と健康の維持を図る。	児童が自らの健康について考える力を育成し、規則正しい生活習慣を定着させる。	「9～10時間睡眠」で肯定評価70%以上	さわやかチェック	毎学期	△	平均57% 2つの学年で50%を下回る。	△	・1学期より寝る時間がおそくなった学年が半分もある。・高学年は40%前後と低く課題がみられる。	△	さわやかチェックという期間をもうけることで保護者も意識がしやすい。結果につながるよう家庭でも意識していきたい。子どもたちは体を動かすことが大好きである。駆け足記録会は、応援する側も元気をもらえる良い行事だと感じている。
			●体育の授業に加え、学校全体での取組などを通して、運動への意欲を高める。 (かけ足・短なわ・大なわ)	「運動することが好きだ」で肯定評価70%以上	振り返りアンケート	毎学期	◎	平均91% すべての学年で80%を超えている。	◎	・4学年で80%を超え、全体で85%。体育授業や体育的行事等の取組による成果が表れている。	◎	
	地域活動	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩むチーム学校づくりを進める。	●学校ホームページ、校報等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める ◇地域人材を積極的に活用し、PTA・地域と協力体制づくりをすすめる	学校教育アンケート「わかりやすい広報」で90%以上 PTA・地域(自治会・老人会)に学校行事に参画していただく	学校教育アンケート 実践報告	年度末 年度末	○ ○	学校HP、校報等で教育活動の発信に努めている。 PTA・体育大会、かけ足記録会等 地域・入学式、卒業式、見守り隊感謝の集い	◎ ○	・学校教育アンケート「わかりやすい広報」で97%となった。今後も積極的な教育活動の発信に努める。 ・円滑な進行を心掛け時間短縮等工夫しながら交流行事を行った。	◎ ○
校長より (年度末) 今後も、学校群として、めざす子ども像や課題を考察し、教育活動の充実・改善をめざし取り組みを進めたい。						学校関係者評価者から (年度末) 小規模校ならではの子どもたちの関係のよいところやむずかしさを感じることはあると思われるが、先生一人ひとりが親身になって関わってくれた。学校側の取り組みだけでなく、家庭の協力が必要である。今後も安心して登校できるよう学校の取り組みに期待する。						